

# 「JFE21 世紀財団」2010 年度・アジア歴史研究助成・募集要項

## 1. 助成対象となる研究

「アジアの歴史を対象とし、その研究成果が 21 世紀アジアの産業・通商交易と文化・社会の予見・展望を通して、**21 世紀アジアに共存・共栄するための日本の産業と文化の Vision 構築に資する研究**」であり、地域等では次のような条件を満たすもの。

- \* アジア地域：北・東アジア(日本、朝鮮半島、中国、モンゴル、ロシアの一部)、東南アジア、インド亜大陸～西アジア(中近東)、中央アジア～カスピ海沿岸地域
- \* 実質的に既に完了している研究や、特定機関からの委託研究は対象外とする。
- \* 上記条件に該当しない応募は、事務局判断で審査委員会に上申しない場合もある。
- \* 助成研究は公開を前提とする。(本財団にて助成研究報告書を発行、財団 HP で公開)

## 2. 助成件数と助成金額

7 件 (原則)、1 件あたり 150 万円、総額 10,500 千円

- \* 助成金は代表研究者の所属する大学に交付 (大学指定銀行口座に 10 年 12 月に振込)
- \* 助成金の使途は、参考書籍・文書購入費、設備・備品費、学会・調査旅費、研究補助者謝金等で、研究室運営費、学会等開催費、書籍刊行費などは不可とする。

3. 研究期間 原則 1 年間 (2011 年 1 月研究開始、同年 12 月終了、2012 年 1 月報告書提出)  
但し、2 年間を上限として延期・延長を可とする (その場合 2013 年 1 月報告書提出)。

4. 応募資格 日本の国公立大学 (含付属研究機関) または国公立研究機関に勤務する研究者であって国籍は問わない。グループの場合、共同研究者は 3 名以内で他大学や公的研究機関の研究者も可であるが、学生や大学院生は応募・共同研究者ともに不可とする。2007～2009 年度の本研究助成受領者は、本応募の代表研究者から除外する。

## 5. 申請の手続き

本財団ホームページ (HP) の申請様式に記入し、Email で事務局に送信

財団 HP <http://www.jfe-21st-cf.or.jp/> 受付開始 4 月 26 日 (月) : 締切 6 月 25 日 (金)

- \* 記入と送信の要領は申請様式に掲載、ペーパーレス申請につき郵送は不可とする。

6. 審査・選考と助成研究(者)の公表 本財団委嘱の審査委員による審査・選考を経て本財団理事長が決定し、9 月末に応募者に結果を通知の後、本財団 HP 等で公表する。

委員長 片倉もとこ (国際日本文化研究センター名誉教授、国立民族学博物館名誉教授、本財団評議員)

委員 朱 建栄 (東洋学園大学人文学部教授)

染谷臣道 (比較文明学会会長、静岡大学名誉教授)

## 7. 助成受領研究者の義務と条件等

- (1) 助成受領者は、当財団と「アジア歴史研究助成覚書」を交換
- (2) 助成金の受領手続き (本財団所定の寄付申請書により大学事務部に手続きを依頼)
- (3) 贈呈式への代表研究者の出席 (東京において 11 月末頃予定、出席費用は財団負担)
- (4) 研究終了後、研究成果報告書(公開前提)と会計報告書を提出
- (5) 研究論文等への本財団への謝辞の記載

以上